

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 30. 4. 4 第 196 回国会第 7 号

4 月 4 日（水）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・河野外務大臣、山本防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 遠山清彦君（公明）

- ・津波対策に関する国際的な協力について、外務省はこれまでどのような活動を行い、今後どのように取り組んでいくつもりか。
- ・河野外務大臣主催の自律型致死兵器システムに関する有識者との意見交換会（2018. 3. 14）の開催意義と今後の取組について伺いたい。
- ・北朝鮮が非核化の条件として在韓米軍の撤退を要求すると見られることについて河野外務大臣はどのように考えているのか。

### 岡田克也君（無会）

- ・我が国への核持ち込みについて日米間で認識のギャップがあることを日本政府が長い間放置してきたことについて河野外務大臣はどのように考えているのか。
- ・米国は非核三原則を堅持する我が国の立場をよく理解しているとの答弁だが、「理解している」とは米国が我が国の立場を尊重してこれを遵守するという意味か。
- ・核を搭載した戦略爆撃機を自衛隊が護衛することの是非について河野外務大臣はどのように考えているのか。

### 阿久津幸彦君（立憲）

- ・人道支援に従事する NGO 職員の渡航に対して、一般渡航者向け安全基準を一律に適用することは見直すべきではないか。
- ・北朝鮮に対する制裁決議が順守されるよう、我が国は韓国に対して先頭に立って働き掛けていくべきではないか。
- ・北朝鮮で困窮する人々に対しては NGO を活用した人道支援を行うべきではないか。

### 篠原豪君（立憲）

- ・米朝首脳会談が実現した背景及びその意義について政府の見解を伺いたい。
- ・中朝首脳会談に臨んだ北朝鮮の意図及び会談の評価につ

いての政府の見解を伺いたい。

- ・我が国は日朝首脳会談の開催を模索する意思があるのか。

### 緑川貴士君（希望）

- ・イーグス・アショアの性能面、費用対効果をどう評価して導入を決定したのか。
- ・Xバンドレーダーの青森県つがる市への配備は現地調査から運用開始まで半年程だったが、イーグス・アショア配備にあたってはどのようなスケジュールになるか。
- ・Xバンドレーダーが配備されている京都では飛行制限区域が設定されているが、イーグス・アショア配備にあっても飛行制限区域が設定されるのか。

### 源馬謙太郎君（希望）

- ・政権側による野党弾圧、言論弾圧等が行われているカンボジア情勢について河野外務大臣はどのように認識しているのか。
- ・2018年7月に実施予定のカンボジアでの総選挙に対し、我が国が支援を行う意義は何か。
- ・カンボジアで行われる総選挙が公正・公平なものとなるようカンボジア政府に対し河野外務大臣から働きかけを行うべきではないか。

### 宮本徹君（共産）

- ・「日米の『動的防衛協力』について」と題する防衛省資料について、昨年の開示請求によるものと一昨日明らかになったものは、それぞれどこに保存されていたのか。
- ・横田基地へのCV-22オスプレイの配備について、河野外務大臣は米軍機の事故に対する我が国国民の懸念を米国に伝えているのか。
- ・MV-22オスプレイに比べCV-22オスプレイのほうが事故率が高い理由及びその事故率の高いCV-22を横田基地に配備する理由は何か。

## 丸山穂高君（維新）

- ・ G20 サミット（2019. 6. 28～29）の大阪開催決定にあたり、会議を成功に導くため大阪府及び市に対する国のバックアップ体制について河野外務大臣はどのように考えているのか。
- ・ 東京電力福島第1原発事故を理由に韓国が実施する福島

など8県産の水産物輸入禁止に対し、禁輸は「不当な差別」であるとの世界貿易機関紛争処理小委員会勧告（2018. 3. 22）がなされたことを踏まえ、同様の輸入規制を講じる中国や台湾に対応していくべきではないか。

- ・ 色丹島での米国企業による発電所建設計画に関する報道について政府はどのように認識しているのか。

## 2 所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とリトアニア共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第5号）

所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とエストニア共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第6号）

所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国政府とロシア連邦政府との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第7号）

投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とアルメニア共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第10号）

- ・ 河野外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。